



特色ある学校づくりに係る資料（平成30年度）

学番	19	学校名	県立五泉高等学校	校長氏名	吉井 裕也
----	----	-----	----------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- 1 全教職員が各自のキャリアに基づく指導力を遺憾なく発揮し、協働して「進学型総合学科」としての特色化に取り組む学校
- 2 生徒が将来を力強く切り拓くための資質・能力を身に付ける場として「授業」を捉え、全校を挙げて授業改善に取り組む学校
- 3 清潔で落ち着いた学習環境の下、すべての生徒が安心して過ごし、自らの成長を実感することのできる学校

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 1 熱意をもって自らの学習指導の充実・改善に取り組む教師
- 2 観察力・想像力・コミュニケーション能力に富み、生徒・保護者との関係を大切にする教師
- 3 同僚と協働して自校の課題解決に取り組むことのできる教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- 1 3年間を見通した指導計画「きらきらいずみプログラム」に基づくキャリア教育の実施
 - ・地域経済人講話、上級学校見学、インターンシップ、キャリア教育講演会、大学講義体験等、地域・外部機関との連携による取組の実施
 - ・生徒・保護者のニーズを踏まえた、合格体験を聞く会、保護者対象進路説明会等、手作りの企画の実施
- 2 地域活性化の拠点としてのスクール・アイデンティティ
 - ・「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」における「ふるさと研究」をとおした地域理解に係る探究的な学習の実施
 - ・吹奏楽部、家庭部、ボランティア同好会等、文化部の活動をとおした地域との交流
 - ・五泉市商工観光課との連携による総合ビジネス系列の「五泉高校 宝探しプロジェクト」の実施

IV 平成30年度の重点目標

- 1 授業改善の推進
 - ・主体性、積極性を喚起する授業づくりを目指した授業公開、校内研修の実施
 - ・生徒の「授業評価」による改善点の確認
- 2 キャリア教育の一層の充実
 - ・「きらきらいずみプログラム」の検証と共通理解に基づく計画的な実践
 - ・進路実現に対する意欲の喚起をねらった面談指導の充実
- 3 生徒の規範意識、社会性の涵養
 - ・各学年における「生徒実践目標」達成に向けた指導の強化
 - ・生徒会行事の企画・運営、部活動等をとおした社会性の育成
- 4 安全・安心な教育環境の保持
 - ・生徒支援委員会の主導による生徒情報の共有と組織的な対応
 - ・「平成30年度学校いじめ防止基本方針」の活用